

木津川上流管内河川レンジャー

『郷土に残る産業遺産を歩く 美旗新田用水2』を開催しました！



【田中 河川レンジャー 企画】

名張に残る産業遺産である、美旗新田用水を辿る企画の第2弾として、すずらん台口から滝ノ原、新田井堰を経由してすずらん台口に戻る、約20kmの行程を歩きました。

距離が長く大変でしたが、水路を歩くことが出来て良かったという意見が多くありました。江戸時代にこれだけの水路が作られたこと、今でも使用されていることに驚かされました。

開催概要

- 日時:平成27年5月31日(日)
- 場所:名張市美旗新田
- 参加者数:22名
- 実施内容:灌漑水路の見学
利水事業の歴史と重要性の学習

参加者からの声

- 川の流れを利用してうまく考えられています。
- 江戸時代にこれだけの水田水路を造ったことに感心しました。
- 先人の水に対する思い、知恵と苦勞に感動した。
- 350年ほど前に作られて、現在まで続けて活躍していることに驚きです。先人の知恵にびっくりです。

活動のようす



活動前のミーティング



美旗新田用水散策の様子①



活動前の準備運動



美旗新田用水散策の説明①



美旗新田用水散策の説明②



美旗新田用水散策の様子②



美旗新田用水散策の説明③



美旗新田用水散策の様子③



美旗新田用水散策の説明④